## 平成 18年度 伊丹市行政評価 ~事務事業評価編~

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりブラン」に位置付けが あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。

事務事業コード	133	105		H19年度以降に事 内容は、評価表作原		16Mる事業。 3月)のものであり、そ	その後の状況変化な	どにより	、公表時点	点において実	ミ施時期や事業	費等が変更に	なっている:	場合があります。	
事務事業名		学翟	で流グル	ループ育り	成事業		部局 教育委員会 解放 解放	人権教育	<b>育室</b>						
事業内容	中、摂陽小、	解放児童 子どもが をとおし	館の保護者、 義務教育を終 て、同和学習	共同会館職員とえた女性を対	を対象とした 対象とした創作	ープ、笹原小、笹 体力作りグループ グループの3つの 合同同和学習会1[	が、 グ 回、 事業終了(	7年度			評価結果	上位施	<b>C</b> 無に対す	る貢献	
	-4.4.5	<b>視点</b> 支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現										率的・	度はやや低く、より効 率的・効果的な事業の		
この事業の 上位施策	これから5 年間のまた づくりプラン	<b>大日</b> この同のでは対価性の行列									あり方必要。	について	検討が		
	→ 「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18~ 取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							度) に計画的に 上記評価結果は、事務事業の活 評価に同一施策内での各事務事 を加味して総合的に評価したも					事業の相対		
事業の目的		世域内外の住民が、出会いとふれあいを大切にした活動を進めることで同和学習を 「い、人権が大切にされる地域づくりをめざす。  「現)教育総務費  「項)教育総務費  「項)教育総務費  「取)学童保育事業費  「ないます。)  「日)解放児童館費								[保育事業費					
	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)							
			平原	<b>或17年度(決</b>	<b>算</b> )					平月	成18年度(	予算)			
			平月	<b>或17年度(決</b>	算) 財源内	 訳				平月	<b>戊18年度</b> (		源内訳		
			平月	或17年度(決: 国·県補助	財源内	訳	_			平月	成18年度( 国·県補	財	源内訳		
	事業費		101千円	国-県補助	財源内	訳				<b>平</b> 原 116千円	国·県補	財	源内訳		
	事業費			国-県補助	財源内 加金等 債	訳					国·県補	財 助金等 <b>債</b>	源内訳		
<b>事業巻竿の探覧</b>	事業費			国-県補助	財源内分金等債	101=	_				国・県補市	財 前助金等 債 使用料等)	源内訳	116 <del>T</del>	
事業費等の概算	事業費	1.		国・県補助 市 その他(使月 一般財源(市 ⇒年間を通じてい より算出してい	財源内 力金等 債 用料等) 市税等) この事業に投入 きます。寛式で表		一 千円 草に ・ <b>投入人員</b>	I.	0.80	116千円	国・県補 市 その他(位 一般財源 ⇒年間を通じ より算出して	財 前助金等 債 使用料等) (市税等) でこの事業にいます。第3	こ投入される式で表すとど	116千 る人的資源を概算 次の様になります。 量:課の全仕事	
事業費等の概算			101千円	国・県補助 市 その他(使用 一般財源(1 ⇒年間を通じてい より算出してい =担当課職員数	財源内 力金等 債 用料等) 市税等) この事業に投入 きす。算式で表 数×(当該事業の	101- される人的資源を概算	ー 千円 章に ま量) <b>投入人員</b>	ı		116千円	国・県補 市 その他(位 一般財源 ⇒年間を通じ より算出して =担当課職	財 前助金等 債 使用料等) (市税等) てこの事業にいます。算該 でいます。算該 たり平均人件	こ投入される 式で表すとど 事業の仕事	る人的資源を概算 欠の様になります。	
事業費等の概算	投入人員		101千円	国・県補助 市 その他(使用 一般財源(1 ⇒年間を通じてい =担当課職員数 ⇒年間1人あたり	財源内 力金等 債 用料等) 市税等) この事業に投入さます。算式で表 数×(当該事業の り平均人件費に打	101- される人的資源を概算 すと次の様になります 仕事量÷課の全仕事	ー 千円 章に ま量) <b>投入人員</b>		0,80	116千円	国・県補 市 その他(の 一般財源 ⇒年間を通じ より算出して =担当課職 ⇒年間1人あ たものです。	財 前助金等 債 使用料等) (市税等) てこの事業にいます。算該 でいます。算該 たり平均人件	こ投入される 式で表すとど 事業の仕事	る人的資源を概算 次の様になります。 量・課の全仕事	
	投入人員	8,5	101千円	国・県補助 市 その他(使用 一般財源(オ ⇒年間を通じてい =担当課職員数 ⇒年間1人あたり たものです。	財源内 力金等 債 用料等) 市税等) この事業に投入さます。算式で表 数×(当該事業の り平均人件費に打	101- される人的資源を概算 すと次の様になります 仕事量÷課の全仕事	ー 千円 章に 。 <b>投入人員</b> 章し <b>人件費</b>		0,80	116千円	国・県補 市 その他(の 一般財源 ⇒年間を通じ より算出して =担当課職 ⇒年間1人あ たものです。	制 前助金等 債 使用料等) でこの事業に でいます。算該 たり平均人体 69千円	こ投入される 式で表すとど 事業の仕事	る人的資源を概算 次の様になります。 量・課の全仕事	
事業費等の概算 活動指標	投入人員 人件費 経費合計	8,5	101千円 00人 66千円	国・県補助市 その他(使用 一般財源(オ →年間を通じてい =担当課職員数 →年間1人あたいたものです。	財源内 加金等 債 用料等) 市税等) この事業に投入さます。算式で表 数×(当該事業の り平均人件費に打	101- される人的資源を概算 すと次の様になります 仕事量÷課の全仕事	ー 千円 章に 表量) <b>投入人員</b> 章し <b>人件費</b> <b>経費合</b>		0,80	116千円 )人 千円	国・県補 市 その他(の 一般財源 ⇒年間を通じ。 =担当課職 ⇒年間1人を たものです。	期 前助金等 債 使用料等) (市税等) でこの事業に 貴数×(当該 たり平均人作	こ投入される 式で表すとと 事業の仕事 ‡費に投入。	る人的資源を概算 たの様になります。 ・量・課の全仕事 人員をかけて積算	